

平成28年度 北九州市国家戦略特区の取組みの評価について
～国家戦略特別区域の評価～

1. 区域会議（指定区域の評価）

- ・日 時：平成29年5月16日（火）17時30分～18時30分
- ・場 所：中央合同庁舎8号館（東京都千代田区永田町 1-6-1）

※「指定区域の評価」は、5月22日（月）の諮問会議で内閣総理大臣へ報告。

2. 北九州市の評価結果（諮問会議への報告内容）

【評価すべき点】

- ・特区民泊を、初めて市街化調整区域を対象に実施。事業開始当初の平成29年1月より「2泊3日」からの宿泊を可能とし、活用拡大を期待。
- ・介護施設の2ユニットの共同生活室の一体利用により、介護ロボットの活用やこれに伴う職員負担軽減効果の検証などの取組が順調に進捗。
- ・シニア・ハローワークを全国で初活用。

3. 参考

◇ 本市の特区事業の概要（7事項11事業）

事業概要	実施時期
エリアマネジメントの民間開放によるまちの賑わいの創出（5事業）	平成28年4月ほか
NPO法人設立の際の縦覧期間の大幅な短縮による設立の促進	平成28年4月
介護ロボット等を活用した「先進的介護」の実証実装	平成28年6月
シニア・ハローワークの設置による高齢者等への重点的な支援	平成28年8月
滞在施設の旅館業法の適用除外（特区民泊）	平成28年10月
特産酒類の製造事業（構造改革特区の特例）「汐風香る魅惑のワイン特区」	平成28年10月
創業者の人材確保の支援に係る国家公務員退職手当法の特例	平成28年12月

国家戦略特別区域会議(平成 29 年 5 月 22 日)
 (平成 28 年度国家戦略特別区域の評価について【抜粋】)

北九州市

【名称】 福岡市・北九州市 グローバル創業・雇用創出特区

【目標】 雇用条件の明確化及び高年齢者の就業支援などの雇用改革等を通じ国内外から人と企業を呼び込み、起業や新規事業の創出等を促進することにより、社会経済情勢の変化に対応した産業の新陳代謝を促し、産業の国際競争力の強化を図るとともに、更なる雇用の拡大を図る。

1、個別認定事業の進捗状況

[平成 28 年度: 7 事項、11 事業 累計: 7 事項、11 事業]

事項・事業名	実施主体	計画認定日
① 国家戦略道路占用事業 [平成 28 年度 : 5 事業 累計 : 5 事業]	【船場町1号線・6号線】 公共空間リソース利活用勉強会 【魚町 11 号線】鳥町まちづくり会議推進協議会 【八幡停車場線】「つながる絆！八幡」実行委員会 【東港町2号線・5号線】門司港レトロ倶楽部 【西海岸7号線】門司港レトロ倶楽部	平成 28 年 4 月 13 日
② 特定非営利活動法人設立 促進事業 [平成 28 年度 : 1 事業 累計 : 1 事業]	北九州市	平成 28 年 4 月 13 日
③ ユニット型指定介護老人福祉 施設の共同生活室に関する 特例事業 [平成 28 年度 : 1 事業 累計 : 1 事業]	北九州市	平成 28 年 4 月 13 日
④ 国家戦略特別区域外国人 滞在施設経営事業 [平成 28 年度 : 1 事業 累計 : 1 事業]	北九州市	平成 28 年 10 月 4 日
⑤ 国家戦略特別区域創業者 人材確保支援事業 [平成 28 年度 : 1 事業 累計 : 1 事業]	Houyou 株式会社	平成 28 年 12 月 12 日

⑥ 高齢者等への重点的な就職支援のための「シニア・ハローワーク」の設置 平成 28 年度 : 1事業 累計 : 1事業	北九州市	平成 28 年 4 月 13 日
⑦ 特産酒類の製造事業 平成 28 年度 : 1事業 累計 : 1事業	北九州市内で生産された、地域の特産物であるブドウを原料とした果実酒を製造しようとする者	平成 28 年 10 月 4 日

① 国家戦略道路占用事業	年度	28	合計
	事業数	5	5

(平成 28 年度の認定事業に関する評価)

- 北九州市では、5事業で 33 回のイベントを実施し、来訪者は約 170 万人であった。なお、経済波及効果の試算は行っていない。

② 特定非営利活動法人設立促進事業	年度	28	合計
	事業数	1	1

(平成 28 年度の認定事業に関する評価)

- 北九州市では、平成 28 年 4 月から事業を開始しており、同年における NPO 法人の申請件数は 15 件と、平成 27 年度の 14 件と比べて大幅な変化はない。本特例について、積極的に PR 活動を行うなど、利用の拡大に向けた取組を強化すべきである。

③ ユニット型指定介護老人福祉施設の共同生活室に関する特例事業	年度	28	合計
	事業数	1	1

(平成 28 年度の認定事業に関する評価)

- 本事業により、隣接する 2 つのユニットの共同生活室を共用することが可能となり、介護ロボットの実証をより効果的に行うことができるようになった。また、介護サービスの内容ごとの作業分析やデータ蓄積を行うことで、介護職員の負担軽減と作業効率の向上などにつながると考えられる。
- 平成 28 年 8 月から、市内 2 施設において、7 種類のロボット等の実証を開始しており、取組が着実に進んでいる。
- 本事業を活用した実証を積み重ね、今後、介護ロボットを活用した場合の介護職員の人員基準の見直しなど、新たな規制改革事項の実現につなげていくことが期待される。

④ 国家戦略特別区域外国人滞在施設経営事業	年度	28	合計
	事業数	1	1

(平成 28 年度の認定事業に関する評価)

- ・ 北九州市では、平成 29 年 1 月から事業を開始しているが、平成 29 年 3 月末時点で、事業者からの申請はない。
- ・ 全国で初めて、市街化調整区域を対象区域とし、グリーンツーリズムなどと併せて行う取組は、有意義である。今後、活用が広がることが期待される。

⑤ 国家戦略特別区域創業者人材確保支援事業	年度	28	合計
	事業数	1	1

(平成 28 年度の認定事業に関する評価)

○国家戦略特別区域創業者人材確保支援事業

- ・ 北九州市では、平成 28 年 12 月に事業者募集を開始し、同月に 1 事業者を認定しており、採用実績につなげていくことが必要である。

⑥ 高齢者等への重点的な就職支援のための「シニア・ハローワーク」の設置	年度	28	合計
	事業数	1	1

(平成 28 年度の認定事業に関する評価)

- ・ 平成 28 年 8 月に、全国で初となる 50 歳以上の就職支援を重点的に行う「シニア・ハローワーク戸畑」を北九州市内に開設した。開設から平成 29 年 3 月末までの約半年間で、北九州全域の全年齢の件数が減少している中で、「シニア・ハローワーク戸畑」の 50 歳以上の就職件数は 216 件、新規求職申込件数は 787 件と、平成 27 年の同時期(就職件数は 166 件、新規求職申込件数は 647 件)に比べて増加している。より重点的な就職支援に向けて、今後も PR 活動に取り組む必要がある。

⑦ 特産酒類の製造事業	年度	28	合計
	事業数	1	1

(平成 28 年度の認定事業に関する評価)

- ・ 平成 30 年夏頃からのワインの醸造開始を目指し、醸造施設の整備などの準備を計画どおり進めている。また、同年春頃から夏前までに、酒類製造免許を取得予定である。

2、規制改革事項の活用及び見込状況

- ・ 北九州市は 7 事項、11 事業の新たな認定を受けている。
- ・ 北九州市における「ユニット型指定介護老人福祉施設の共同生活室に関する特例事業」や「高齢者等への重点的な就職支援のための『シニア・ハローワーク』の設置」は、全

国で初めて活用している点で、評価できる。

- ・ 北九州市も、他の区域で幅広く活用されている規制改革事項について、更なる活用が求められる。

3、追加規制改革事項の提案状況

北九州市は、自ら提案した「ユニット型指定介護老人福祉施設の共同生活室に関する特例事業」や「高齢者等への重点的な就職支援のための『シニア・ハローワーク』の設置」などの事業を開始している点は評価できる。